

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和五年七月十三日発行 (毎月一回十三日発行)

定価 五〇〇円

第982号

龍

跳

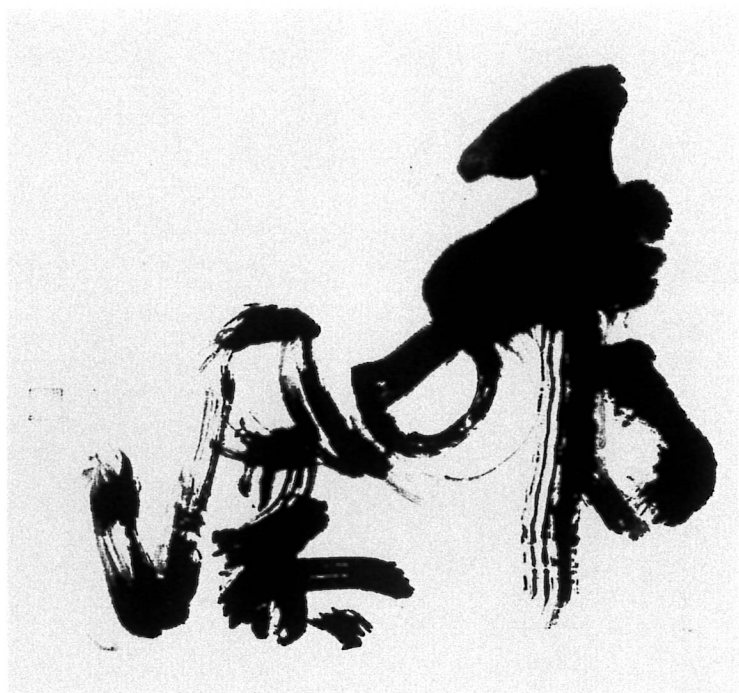
秋季昇段・級試験課題発表表

第七十九卷

8
月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書



飛
瀑

蜀素帖

米芾

無逆與握古書同岸憤注
 朋屢黨初相慕濯髮酒心求
 易憲翩直鶴雲中侶土苴
 跼跼那一顧迹業來器業何
 深至湛具區無底沁可伶一
 終不易拉駕殷勤尋漫仕

無逆。與握古書同岸憤。淫朋變黨初相慕。濯髮酒心求易慮。翩々遼鶴雲中侶。土苴跼跼那一顧。邇來器業何深至。
 湛々具區無底沁。可伶一點終不易。枉駕殷勤尋漫仕。
 与に古書を握り、岸憤を同じくす。淫朋、變黨、初めより相慕い、濯髮、酒心、慮を易えんと求む。翩々たる遼鶴、雲中の侶、土苴、跼跼、
 那ぞ一顧せん。邇來、器業は何ぞ深く至れる、湛々たる具區、底沁無し。可憐む可し、一点、終に易えず、駕を枉げて殷勤に漫仕を尋ぬ。

蜀素帖

米芾

蜀で織られた絹に書かれた自作の詩卷である。末尾に「元祐戊辰九月廿三日溪堂米黻記」とあり、元祐三年（一〇八八）に、当時、湖州の知事であった林希の招きを受けてその任地に遊んだときに書かれたもので、米芾三十八歳の書である。荒い絹地にしかも烏絲欄が施されているので、書にいくぶんの気負いと慎重さがうかがえるが、線が澄みきっている。

出間桂堂書

我有斗酒藏之久矣以待子不時之需

我有斗酒藏之久矣
以待子不時之需

江西澄翠書

坐愛微涼生碧殿忽看飛雨失青山

坐愛微涼生碧殿
忽看飛雨失青山

江西澄翠書

梅
川
桂
龍
書

山
静
似
太
古

山
静
に
し
て
太
古
に
似
た
り

7月20日締切

梅
川
桂
龍
書

日長如
少年

日長くして
少年の如し

8月20日締切

福
原
曉
雲
書

和
安
而
好

和^わ安^{あん}にして敬^{けい}を好^{この}む

福
原
曉
雲
臨

桂
駕
殷
勤
尋

桂
駕
殷
勤
尋

西山極山臨

銀青光祿大夫持節
蒲州法軍事蒲州

弘田賀峰臨

龜鶴年壽齊羽介所
託殊種是靈物

弘田賀峰

岩
河
里
華
臨

娑羅即峴山繚云形大
地、惟東吳偏山

里華臨

岡
林
邦
心
臨

不羞不自立舒光射
丸、相見吐子效鶴

邦
心
臨

朝廷紀綱須共存立
過尔陳壞二恐

惠花書

野中惠花

仁王雖才備講師得
去未忍一日親

美峰書

中平美峰

惠止親妙門頂戴供
善少去似居己

容舟書

河村容舟

以雲宿向龍殘日汀
草一浮香為小橋

花梢書

大崎花梢

以云風韻之立得都
陰懷本承天地之心

芳春書

池 芳春

春林花多媚
以復為情以系羅裳開

洋堂書

浜崎洋堂

大之則弥於宇宙細之
則攝於豪無威無

悠道書

伊吹悠道

道名流度歷遂古而
鎮常赴感應身

洋女書

大八木洋女

其不悟習字相連依
今為新字書粗

仁實書

横田仁実

古曰古之學者
觀有鍾張之邪

隆志書

山崎隆志

条幅当選作品 前田 秀 華 選評

★天位

野中恵花君Ⅱ力まず気軽に臨したところが佳。

中平美峰君Ⅱ筆鋒がきいて明るい。

河村容舟君Ⅱ墨色もよく自然な運筆。

大崎花梢君Ⅱ輕妙で動きが大きい。

池 芳春君Ⅱ筆の穂先がよく活躍し、流暢に書けている。

★地位

浜崎洋堂君Ⅱ線丸く明るい作。

伊吹悠道君Ⅱ堅実な書きぶりに好感が持てる。

大八木洋女君Ⅱ今少し流れが出ればもつと素晴らしくなるのでは。

★人位

横田仁実君Ⅱ真面目に臨して意欲を感じる。

山崎隆志君Ⅱ前者と同じで、これに左右の動きがあればもつと良くなる。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

7月の審査は23日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

窓下有清風

中学一年課題

廣末幽念書

溫知
故新

8月20日締切

田舎の道

8月20日締切

小学五年課題

隅田亘心書

花七

火色

8月20日縮切

夏休み

小学三年課題

大原桂園書

台風

8月20日締切

そら

8月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

すな

8月20日締切

学校名										
六年										
級段										
氏名										
	き	消	い	少	れ		朝			
	り	え	太	し	、	の	海			
	が	て	陽	風	、	は	、			
	動	ゆ	が	出	か	深				
	い	き	ぼ	て	え	い	き			
	て	ま	う	き	っ	り	に			
	い	す	っ	ま	て	包				
	る	。	と	し	い	ま				
	の	ゆ	現	た	ま	し				
	で	っ	れ	。	し	た				
	す	く	て	白	た					
	。	り	は							
		と								

学校名																		
五年																		
級段																		
氏名																		
	も	り	つ	ぬ	む		翌	日	の	昼	近	く	、	じ	い	さ	ん	は
	の	に	り	ま	ね													
	が	、	ば	地	を													
	見	何	り	に	わ													
	え	か	を	行	く													
	ま	ば	し	き	さ													
	し	た	か	ま	せ													
	た	ば	け	し	な													
	。	た	て	た	が													
		し	お	。	ら													
		て	い	昨														
		い	た	晩														
		る	辺	、														

学校名										
三年										
級段										
氏名										
	見	と	た	ろ	お		ぼ			
	上	首	み	に	い		く			
	げ	を	ど	行	て		は			
	た	の	り	っ	あ					
	。	ば	が	た	る					
		し	め		水		教			
		て	が	石	そ		室			
				の	う		の			
		ぼ	ひ	上	の		後			
		く	よ	に	と		ろ			
		を	い	い	こ		に			

がっこう					
	出	け	ろ	け	町
二	会	た	な	ん	の
ねん	っ	り		す	
だ	た	、	も	る	
き	り	で	の	と	中
ゆう		ぎ	を	、	を
な	し	ご		い	
まえ	ま	と	見	ろ	た
	す。	に	つ	い	ん

小学二年課題 藤田桂苑 書

がっこう	た。	う	が	
		た	く	わ
一		を	の	た
ねん		う	じ	し
だ		た	か	は
き		い	ん	
ゆう		ま	に	お
ん		し		ん
なまえ				

がっこう				
ほねん	ひ	し	せ	た
	ま	て	の	か
だんきゆう	わ	い	び	く
なまえ	り	る	を	
	さ			た
	ん			か
				く

〈お知らせ〉

第74回 こども県展について

先日高新で募集要項が発表されました。

毛筆の部

課題

中三年	新進気鋭
中二年	鳥語花香
中一年	無我夢中
小六年	希望の道
小五年	親切な心
小四年	美しい鳥
小三年	文字
小二年	なわ
小一年	とら

※

本誌十月号の毛筆課題は、

右のこども県展課題と同様とします。

(手本は八月審査会提出)

※

担当者は7月23日迄に課題を書いて、審査会場にご持参の上、批評を受けて下さい。

(訂正)

本紙6月号7頁の臨書参考の

右下、釈文の「酒」は誤りで

正しくは「酒^{さい}」です。

お詫びして 訂正します。

★第20回記念高知連合選抜書展

会期・5年10月29日(日)～12月3日(日)

主催・安芸市・安芸市書道振興協議会

会場・安芸市立書道美術館

陽邊
由美

陽歸雁邊

陽歸雁邊洛

陽邊
歸雁洛

歸雁洛陽邊
志津

清園君「今後この作に太細線を取り

入れ、まろやかさを、特に
右払いの最後抜き方、注。
花梢君 力強く慎重に書いています

右払いの研究を願います。
恵風君Ⅱやわらかい線質で佳。この

調子で頑張つて。
(二・三段目) 岡崎緑水 選評

孝北君Ⅱ墨量豊かで作品に潤いあり
世津君Ⅱ伸び伸びとした運筆で一紙

貫通している。

幽雅君Ⅱ堅実な書きぶりに好感がも

幸子君Ⅱ所々良い線が見える。頑張

美水君Ⅱ師風をよく捉え努力の作。

（三・四段目） 塚地桂峰 選評
知勢子君力強く堂々とした作。

美邦君Ⅱ力みなく伸び伸びとした作
仁実君Ⅱまじめな作。明るい。

心春君Ⅱ線の強さと深さを感じる。
由美君Ⅱ動き大きく明るい作。

花穩君Ⅱ伸びやかで堂々としている
(四段目) 岡林邦心 選評

美香君はいいねい。で良くまとめている。

悦枝君Ⅱ明るく良くまとめている。
志津君Ⅱ全体のまとまりも良く安定

した作。

一瓦寄
心求易

清金溪
心求易

入佛
心求易

心求易
心求易

濯髮洒
心求易

濯髮洒
心求易

入佛
心求易

濯髮洒
心求易

可心鍾
心求易

濯髮洒
心求易

入佛
心求易

清金溪
心求易

焚民不
心求易

清風洒
心求易

梅劉故
心求易

濯髮洒
心求易

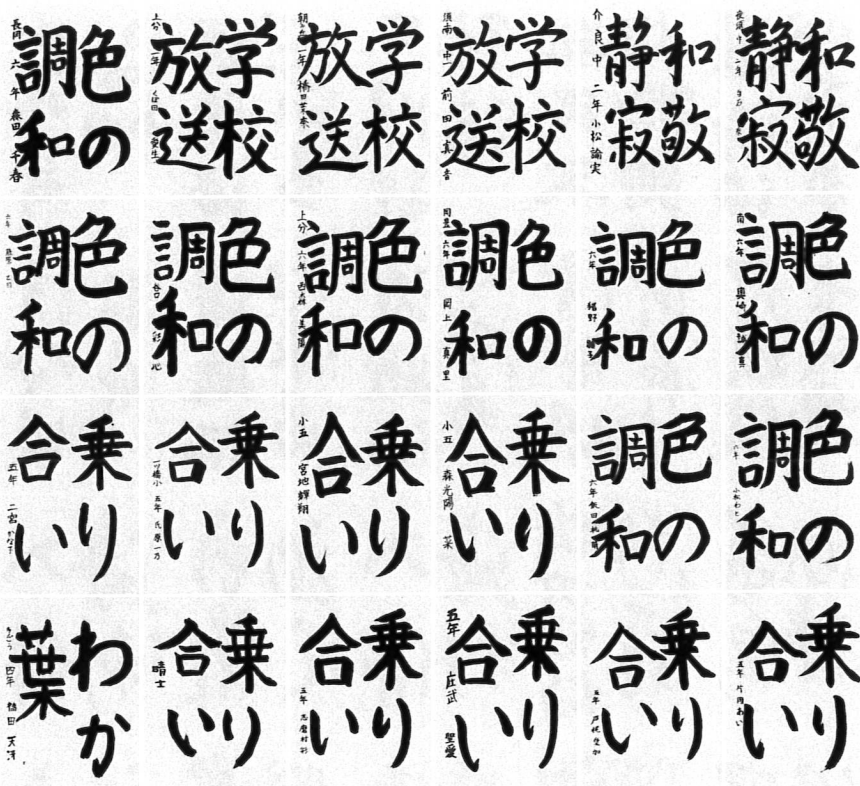
濯髮洒
心求易

何須織
心求易

米公
心求易

宿南
心求易

(一・二段目) 梅川桂龍 選評
桂園君 強韌な線で流れ良し。
賀峰君 整然として品位あり。
恵花君 柔らかな線質で温かさがあ
る。
深美君 手慣れた書きぶり、線も円
やかで佳し。
碧泉君 暖急自在で勢いがある。
美泉君 さらりと流して心地よさを
感ずる。
(二・三段目) 廣末幽念 選評
孝北君 動き大きく、大胆な作。
花道君 丸みのある線質で明るい。
絢子君 余白が活き、安定感あり。
司郎君 筆力あり、伸び伸びとした
作。
順子君 力みなく線に温かみを感じ
る。
(三・四段目) 野島桂山 選評
知勢子君 筆力あり充実した作。
啓子君 丁寧に臨んで好感がもてる。
英子君 力みなく全体のまとまりも
よい。
仁美君 勢いあり見応えあり。
幸三君 達者な運筆で安定した作品。
花穂君 おおらかな運筆で気脈貫通
の作。
(四段目) 武内美仁 選評
志津君 毛先がきき、字々のめりは
りが効果的で明るい。
美恵子君 一紙を圧する気力を感じ
る。
あや君 軽妙な筆致で健康な作。



(一段目) 中学部

佐々木港花 選評

葵 君 〓 少し縦長すぎ。もう少し短くしたらいいのでは。

論実君 〓 形はいいです。元気に書いてほしいです。

真音君 〓 しっかり書いています。

茉奈君 〓 「放」の字を背を低くしたらいいのでは。

愛生君 〓 「送」を左へ払って下さい。とめないで。

(一・二・三段目) 小学六年 大八木洋女 選評

千春君 〓 力強い作品です。

誠真君 〓 ていねいに書いています。

雛子君 〓 よく整っています。

真里君 〓 よくまとめています。

美陽君 〓 のびのびと書いています。

彩心君 〓 思い切りよく書いてみましょう。

乙羽君 〓 整っていますが最後までしっかりと！

わと君 〓 先が楽しみです。

桃萌君 〓 元気に明るく書いています。

(三・四段目) 小学五年 大原桂園 選評

陽菜君 〓 力強い作品です。

輝翔君 〓 明るく、伸びやかです。

一乃君 〓 落ちつきがあり、さわやかです。

かな子君 〓 のびのびしています。

あい君 〓 大らかな作品です。

愛加君 〓 ていねいに書いています。

聖愛君 〓 元気があります。

彩 君 〓 落ちついて書いています。

晴士君 〓 まじめに書いています。

(四段目) 小学四年

天冨君 〓 よくまとめて明るい。

深瀬緑堂 選評



(一・二段目) 小学四年

悠成君Ⅱ落ちついて丁寧な作品。

さくら子君Ⅱ力強く筆づかいも良い。

遙音君Ⅱ「とめ」「はらい」に注意して下さい。もつ

とよくなります。

咲良君Ⅱ元気がいっぱいとても良い。

蒼葉君Ⅱ明るく良くまとめています。

こころ君Ⅱ動きが大きくて大変良い。

亜李衣君Ⅱ思いきりよく、まとめています。頑張つて

書いて下さい。

(二・三段目) 小学三年

実咲君Ⅱ基本がしっかりして良い字です。

朝陽君Ⅱ元気がよくまとまっている。

そら君Ⅱ力強くどうどうと書けています。

美緒音君Ⅱのびのびしています。

舜翔君Ⅱ体がよく動いて元気な作品。

明利君Ⅱ落ちついていていねいに書けています。

(三・四段目) 小学二年

香花君Ⅱていねいによくまとめています。

芳尚君Ⅱ力よくどうどうとかけています。

菜央君Ⅱおちついていていねいにかけています。

心遙君Ⅱかたちよくかけています。

りいな君Ⅱじょうずにかけています。

逢生君Ⅱよくまとまっています。

(四段目) 小学一年・ほいく

はるか君Ⅱおちついてかけています。

れんたろう君Ⅱゆつくりとおちついてかけています。

にこ君Ⅱのびやかにかけています。

いぶき君Ⅱげんきに力よくかけています。

のぞみ君Ⅱすなおにかたちよくかけています。

奥堂皓月 選評

河村容舟 選評

佐竹江月 選評

久礼 中平 千友
長岡 森田 千春

私たちの体の動きと心の動きは、密接に関係しています。例えば、私たちは悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きに表れます。

又礼 六・三・三 中平 十友

私たちの体の動きと心の動きは、密接に関係しています。例えば、私たちは悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きに表れます。

長岡小六・九・三 森田 千春

私たちの体の動きと心の動きは、密接に関係しています。例えば、私たちは悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きに表れます。

浦内六・三・三 寺田 澤

私たちの体の動きと心の動きは、密接に関係しています。例えば、私たちは悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きに表れます。

浦内六・三・三 寺田 澤

浦ノ内 岡本 大睦
浦ノ内 寺田 澤

別府 藤原 杏実
浦ノ内 宮地 輝翔

私たちの体の動きと心の動きは、密接に関係しています。例えば、私たちは悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きに表れます。

別府小六・三・三 藤原 杏実

「枕草子」は、作者の清少納言が心に感じたことを自由に書き記した作品です。清少納言は、この作品の初めに、四つの季節それぞれについて自分の思いをつづっています。

浦ノ内五・八・三 宮地 輝翔

「枕草子」は、作者の清少納言が心に感じたことを自由に書き記した作品です。清少納言は、この作品の初めに、四つの季節それぞれについて自分の思いをつづっています。

一ツ橋五・七・三 氏原 一乃

「枕草子」は、作者の清少納言が心に感じたことを自由に書き記した作品です。清少納言は、この作品の初めに、四つの季節それぞれについて自分の思いをつづっています。

一ツ橋五・七・三 戸根 愛加

一ツ橋 氏原 一乃
一ツ橋 戸根 愛加

越知 大原 瑠心
大谷北 山崎 流依

「枕草子」は、作者の清少納言が心に感じたことを自由に書き記した作品です。清少納言は、この作品の初めに、四つの季節それぞれについて自分の思いをつづっています。

越知五・三・三 大原 瑠心

「枕草子」は、作者の清少納言が心に感じたことを自由に書き記した作品です。清少納言は、この作品の初めに、四つの季節それぞれについて自分の思いをつづっています。

大谷北五・初・三 山崎 流依

何についての新聞にするか、どんな話題をのせるか、だれに読んでもらいたいかなどを考えて、作りたい新聞のイメージを話し合います。

多郷 四・六・三 大城 リサ

何についての新聞にするか、どんな話題をのせるか、だれに読んでもらいたいかなどを考えて、作りたい新聞のイメージを話し合います。

一ツ橋 四・五・三 田辺 蒼月

多ノ郷 大城 リサ
一ツ橋 田辺 蒼月

長岡 宮脇 改太
岡豊 西宮 咲希

何についての新聞にするか、どんな話題をのせるか、だれに読んでもらいたいかなどを考えて、作りたい新聞のイメージを話し合います。

長岡 四・四・三 宮脇 改太

何についての新聞にするか、どんな話題をのせるか、だれに読んでもらいたいかなどを考えて、作りたい新聞のイメージを話し合います。

岡豊小四・三・三 西宮 咲希

何についての新聞にするか、どんな話題をのせるか、だれに読んでもらいたいかなどを考えて、作りたい新聞のイメージを話し合います。

須崎 四・二・三 田村 拓海

こまを回して遊ぶことは、むかしから世界中で行われてきました。長い間、親しまれるうちに、さまざまなくふうがつかやねられてきました。

長岡小三・五・三 森田 史咲

須崎 田村 拓海
長岡 森田 史咲

浦ノ内 宮地 舜翔
須南 田中 碧空

二まを回して遊ぶことは、むかしから世界中で行われてきました。長い間、親しまれるうちに、さまざまなくふうがつみかさねられてきました。

二まを回して遊ぶことは、むかしから世界中で行われてきました。長い間、親しまれるうちに、さまざまなくふうがつみかさねられてきました。

二まを回して遊ぶことは、むかしから世界中で行われてきました。長い間、親しまれるうちに、さまざまなくふうがつみかさねられてきました。

二まを回して遊ぶことは、むかしから世界中で行われてきました。長い間、親しまれるうちに、さまざまなくふうがつみかさねられてきました。

浦ノ内 中平 湊里
長岡 小笠原 湊

はだ せいけあおい
とき山 さわ田 すず

ミニトマトのみ、色は、みどり色です。みの先のほうには、赤いトマトと同じに、おいがしました。

ミニトマトのみ、色は、みどり色です。みの先のほうには、赤いトマトと同じに、おいがしました。

ミニトマトのみ、色は、みどり色です。みの先のほうには、赤いトマトと同じに、おいがしました。

ミニトマトのみ、色は、みどり色です。みの先のほうには、赤いトマトと同じに、おいがしました。

江ノ口 下村 あみい
一ツばし うめばらにこ

多ノこう さか本やまと
すさき こんどうすず

ミニトマトのみ、色は、みどり色です。みの先のほうには、赤いトマトと同じに、おいがしました。

くまさんが、ふくろを あけました。なにも ありません。

くまさんが、ふくろを あけました。なにも ありません。

くまさんが、ふくろを あけました。なにも ありません。

あそう たかはしいぶき
あおノこう はしだ かほ

うらのうち やまおかみずき
いけがわ かみむらしんば

くまさんが、ふくろを あけました。なにも ありません。

くまさんが、ふくろを あけました。なにも ありません。

くまさんが、ふくろを あけました。なにも ありません。

くまさんが、ふくろを あけました。なにも ありません。

あそう まつさかのぞみ
うらのうち よしおかまひろ

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査 前田 秀華

(※印写真版)

★推薦

※西山極山
※弘田賀峰
※岩河里華
※岡林邦心

★天位

※池 芳春
※大崎花梢
※河村容舟
※中平美峰
※野中恵花

田村昭生
大野美賀
津野恵泉
大原桂園
岩村祥
山脇佳月
大井淳
藤原朱鳳

★地位

※浜崎洋堂
※伊吹悠道
※大八木洋女
小笠原広人

深瀬緑堂
水田紅子
大石千施
坂本碧香
岩谷紅花
橋本祝子
丸田宏子
岡田雄山
岩崎竹山
中城康華
明石美桂
西村由香
市原處州
山川百合
山本惠歩
田村和子
横山桂華
大平圭子
鈴木輝代
別役美佐

★
人位

※横田仁実
※山崎隆志
岡林 翠
笠原多嘉
高橋由美
吉永光翠
山本心春
高橋桜芳
川崎志津
松本世津

規定

審查
福原
曉雲

★
師範

東洋	越知	須南	旭華	須崎	山田	山田	山田	須崎	波國	旭筆	久礼	久礼	久礼	須崎	佐川
弘田實隆	大原桂樹	野中惠花	岩河里華	江西澄梨	水田紅子	河村容母	岡林邦心	野島桂山	西山極山	西原健太郎	大八木洋子	中平美峰	與堂皓月	浜崎洋堂	矢野峰臣

★準師範

吾桑
久禮
須崎
高知
旭筆
山田
山田
山北
安芸

堅田清園
大嶮花梢
田中和子
山本惠步
桑原智子
別役美佐
西内仁子
大石千施
萩野羽花
岩崎竹山

[illegible]

審査
岡崎
緑水

★六段

久礼	窪川	窪川	窪川	室戸	窪川	南国	窪川	鷹ノ巣	★ 五段	高知	越知	仁淀川	東洋	佐川	大野見	窪川	香北	明石	仁淀川	東洋	須南	窪川	佐川
浪上理奈	笠原多喜	中城華翠	吉永光昌	山脇佳呂	龜井司郎	西村由翠	池川千景	武政幽雅		大平圭子	利谷喜子	鎌倉春夢	伊吹悠道	横口友香	山下元玉	明石美佳	岡村妙梓	岩村祥	藤原鳳凰	山谷百合	田村昭生	大野美智	今井孝北

久礼市 須南
坂本 田村
絢子 星子
恵子

★
四段

[illegible]

中公 山崎幸三
仁淀川 吉村久美子
仁淀川 掛水勝恵

久礼 政岡喜久美

仁淀川 品原律子

仁淀川大原紀美子

東洋
西尾明美

東洋 前田伸枝

審查
岡林
邦心

★
一級

多ノ郷 市川美香

高知
川崎志津

岡田由紀

南国 林真裕

久礼 濱田美恵子

圖文

1111

五反

3311

仁淀川○城尾 彩

★新規 八級編入 越知 米澤知那	★三段 一ツ橋 片岡あい 一ツ橋 戸梶愛加 初月 川淵結衣	★四段 長岡 宮脇改太 池川 鶴井香月	★八級 別府 ○後藤 樹	★初段 浦ノ内 宮地舜翔	★新規 九級編入 奈路 植野 新	★三段 長岡 宮脇治太
毛筆五年 審査 大原 桂園	★初段 別府 庄武聖愛 一ツ橋 志磨村彩 一ツ橋 梅原勇人 馬路 上利綺沙	★三段 長岡北村さくら子 秦 玉城遥音 一ツ橋 田辺蒼月 池川 藤崎杜真 岡豊 西宮咲希 岡豊 島村倅空	江ノ口 ○下村亜李衣	夜須 清藤 蘭	もうひつ二年 審査 河村 容舟	多ノ郷 ○森光りいな
★七段 多ノ郷 森光陽菜	★一級 附属 三本晴士	★二段 附属 江頭咲良 一ツ橋 川上詩乃 秦 田なべり音 須崎 田村拓海 上分 竹内陽南子 上分やなぎ本きい	★五段 長岡 森田実咲 小高坂 川西康介	★三級 吾桑 吉門蒼馬	★三段 須崎 毛利香花 須南 西村太希	秦 ○清家逢生
★八段 新莊 鍋島 綜	毛筆四年 審査 深瀬 緑堂	★初段 吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所明羽 秦 阿漕結花	★四段 夜須 西村朝陽	★二級 吾桑 小笠原 湊 長岡 ○宮崎穂花 一ツ橋 ○宮田菜瑠 一ツ橋 ○田北琳太朗	★初段 池川 藤崎菜央 上分 うめばらみらい	★初段 須崎 金堂すず
★六段 長岡 押岡風佳	★六段 多ノ郷 大城リサ	★二級 須崎 須賀勇介	★三段 佐古 田村けんご	★七級 長岡 大谷ゆづき	★一級 岡豊 島村心遥 多ノ郷 太田朋希 長岡 竹内伽菜心 長岡 押岡息吹 長岡 猪野光騎	★一級 須南 宮本はるま
★五段 一ツ橋 氏原一乃 長岡 二宮嘉奈子 長岡 高之仁貴 上分 朝比奈来夢 多ノ郷 森岡快晴	★五段 多ノ郷 橋田天冴 一ツ橋 安田悠成 上分 梅原百叶 須南 前田来音 上分 小松のぞみ 須崎 松田菜乃 須崎 谷口桜心	★二級 須崎 須賀勇介	★二級 松坂美緒音 須南 田中碧空 長岡 永尾まとい 馬路 小松太緒 須崎 谷脇愛来 須崎 金堂莉李 須崎 津野聖佳	★八級 長岡 ○小笠原 湊 吾桑 ○宮崎穂花 一ツ橋 ○宮田菜瑠 一ツ橋 ○田北琳太朗	★二級 上分 ○よしむらはるか	★四級 多ノ郷 ○森光れんたろう
★四段 須南 宮本里依羽		★二級 岡豊 ○中司 ころ				

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代		氏名	段	級	のり代		氏名	段	級
5年	月定				5年	月意			
8	規	地名			8	隨	臨は出典名		
氏名									
段									
級									

第676回硬筆成績									
○印は昇級									

★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき		もうひつ		ようち・ほいく		★六級		吾桑○松坂のぞみ		★十級		吾桑○山本ゆきの	
★七級		多ノ郷		○はしだかほ		★九級		上分		○はしだいちか		★十級		上分		○たかはしほなみ		○なかじまあやと		須崎 谷口きずな		★新規		九級編入		須南 田中こ		吾桑 高橋いぶき													

須崎 ★三級 附屬 ○三本晴士 ★六級 大谷北○大木柚杏	久礼 窪田茉優 浦ノ内美島希以花 一ツ橋 玉置はる 多ノ郷 橋田天牙 長岡 竹内陽南子 浦ノ内 松山 翔	★三段	岡豊 西宮咲希 秦 阿漕結花 浦ノ内 森田 葵 秦 川上詩乃 上分 田なべり音 越知 片岡あんり 浦ノ内 矢野華絵 久礼 武内生和	★六級 多ノ郷 大城リサ 秦 玉城遙音 一ツ橋 安田悠成 多ノ郷 松浦結菜 上分 梅原百叶	★五級 一ツ橋 田辺蒼月 附屬 江頭咲良 須崎 松田菜乃 須南 前田來音 上分 小松のぞみ 須崎 谷口桜心	★四級 長岡 宮脇改太 長岡北村 さくら子 久礼 森岡 虹										
上ノ加江岩田愛菜 浦ノ内 中田湖音	★一級 岡豊 中司こころ 一ツ橋 池芽依奈 藤沢 駒崎信慈 岡豊 田所萌羽	★八級 別府 ○後藤 樹	硬筆三年 審査 野中 恵花	★五級 長岡 森田実咲 小高坂 川西康介	★四級 夜須 西村朝陽 須崎 谷崎愛來	★三段 浦ノ内 宮地舜翔 浦ノ内 山本航成 佐古 田村けんこ										
★二段 須南 田中碧空 一ツ橋 森田杏香 秦 中山柚希 吾桑 高橋そら 長岡 宮田菜瑠 須崎 永尾まとい 須崎 津野聖佳 須崎 松坂美緒音 越知 米澤はると 一ツ橋 北林太朗 久礼 薦田コモモ 久礼 今橋なのは 久礼 山川空葉 吾桑 宮崎穂花 夜須 清藤 蘭	★初段 浦ノ内 中平澤里 一ツ橋 東恭太郎 日下 井川こはく 馬路 木下歌乃 上ノ加江 出来あや音 越知 西森ゆうな 久礼 黒原小夏 上分 橋田 陸 久礼 笹岡れいと	★一級 一ツ橋 金尾咲良	★二級 馬路○栗坂明日香 ★三級 吾桑 ○吉門蒼馬 久礼○松山たくと	★四級 長岡 ○西内明利	★五級 久礼 竹本七音	★六級 長岡 ○久保勇惺 吾桑 ○笹岡蒼馬	★七級 長岡 ○小笠原湊 長岡 溝淵蒼功 長岡 大谷ゆづき	★八級 大谷北○大木陽智	★九級 池川 ○北村日和 池川 ○片岡垂李紗	★一級 一ツ橋 梅原虹心 長岡 押岡息吹 長岡 竹内伽菜心	★十級 奈路 植野 新	★二級 多ノ郷 ○坂本大和 多ノ郷 ○森光りいな 多ノ郷 ○太田朋希 長岡 ○宮脇治太 長岡 猪野光騎 久礼 池川ゆうま 越知 藤崎かの 久礼 倉下かなる	★三級 池川 ○藤崎菜央 吾桑 長山ゆうな 久礼 松山まりん	★四級 久礼 日林ゆあ	★五級 上ノ加江 片山ひまり	★六級 上ノ加江 ○吉原あや人 久礼 はまだみらい

(出品票)

のり代
5年
8月
硬筆

– 39 –

秋季昇段級試験作品募集

▽師範の部

(受験資格・本会準師範位に限る)

○課題

(李白「自遣」)

對酒不覺暝 落花盈我衣
醉起步溪月 鳥還人亦稀

酒に対して暝を覺えず／落花 我が衣に盈つ／醉起して溪月に歩すれば
／鳥還つて人も亦稀なり

- 右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ米芾蜀素帖より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
- 当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部

(受験資格 一般部段位、級位の者)

○課題

秋草獨尋人去後 寒林空見日斜時

秋草 独り尋ぬ 人去るの後／寒林 空しく見る 日斜めなる時

- 右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ米芾蜀素帖より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
- 当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部

(受験資格 一般部級位の者)

○課題

江 靜 潮 初 落 江 靜 かに 潮初めて落つ

- 上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
- 作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
- 作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。

○ 当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千元

(作品と同時に納入してください)

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部(毛筆部)

- 課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。
- 規格は半紙。一人一点とします。
- 書体は自由です。
- 作品の裏にエンピツで学年、現段級位、氏名を書くこと。
- 作品の表には絶対に書いてはいけません。

○ 出品料 五百円

▽硬筆作品

- 課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。
- それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学校名、学年、現段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

○ 出品料 五百円

△作品・出品料の締切

令和五年八月三十一日(木)

※出品料は本会口座に振込んで下さい。

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、八時三十分～九時迄の受付です。

令和五年九月三日(日)

午前九時から審査準備、十時より審査開始

高知城ホール

△審査場所

〒783-0081 南国市片山四九〇 西山極山 宛

△受験作品送付先

電話(088) 8651885 7

注 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳誌編集部

〒01690-3-31925
電話(〇八八九) 三五〇九七一

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七) 二九一二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二一三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)
〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九) 四七〇七二二番

あとがき

つもりちがい人生訓

高いつもりで	低いのは	教養
低いつもりで	高いのは	気位
深いつもりで	浅いのは	知識
浅いつもりで	深いのは	欲望
厚いつもりで	薄いのは	人情
薄いつもりで	厚いのは	面の皮
強いつもりで	弱いのは	根性
弱いつもりで	強いのは	自我
多いつもりで	少ないのは	分別
少ないつもりで	多いのは	無駄
長いつもりで	短いのは	人生
短いつもりで	長いのは	人生

月例競書課題

部 別	締切日	
	七月二十日	八月二十日
一般条幅	任 意	任 意
半紙規定	日長如小年	餘花猶可醉
半紙随意	任 意	任 意
中学三年	川上の急流	窓下有清風
二年	花鳥風月	温故知新
一年	谷川の水	田舎の道
小学六年	夏の天空	七色花火
五年	天の川	夏休み
四年	川	台
三年	風	風
二年	せ	そ
一年	み	ら
保 育	う	す な

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11 冊以上は次の計算による。(1 ヶ月分)

①	1 冊～3 冊	80 円
②	4 冊～8 冊	150 円
③	9 冊・10 冊	210 円

〈例〉 12 冊 ①+②= 290 円×月数

17 冊 ①+③= 360 円× "

30 冊 ③× 3 = 630 円× "

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1 年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉 雲

野 島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

発行人

福原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (〇八八) 86518857